

つなげるために…

3 受講する

講習会を受講して、救命処置を体験してみましょう。

消 防署は、AEDを使った心肺蘇生法やけがの手当の方法などを学ぶことができる講習会を開催しています。

一般的な応急手当を学ぶ講習から高度な知識と技術を学ぶ講習まで、時間と講義の内容によって分かれています(下表のとおり)。

また、町内会や学校で普通救命講習・一般救命講習の講師として応急手当を教える応急手当普及員を養成する講習会も開催しています。

119番通報が重なったときなど、すぐに救急車がかけつけることができないことがあります。そのようなときは、救命処置の重要性が一層高まります。

正しい救命処置を体験することで、もしものときに、落ち着いて素早く行動することができます。あなたも救命講習を受講してみませんか？



救命講習会の種類と受講内容

| 種類 | 受講時間 | 講義内容 |
|-------------|------|---|
| 一般救命講習 | — | 一般的な応急手当の知識など |
| 普通救命講習 1 | 3時間 | 応急手当の目的と必要性、心肺蘇生法(成人)、AEDの使用法、窒息の手当、止血の方法など |
| 普通救命講習 2 | 4時間 | 普通救命講習 1 の内容、筆記試験、実技試験など |
| 上級救命講習 | 8時間 | 普通救命講習 2 の内容、小児と新生児の心肺蘇生法、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法など |
| 応急手当普及員養成講習 | 24時間 | 応急手当の基礎知識、基礎技術、指導要領など |

講習会は定期的に開催しています。日程などの詳細は、広報ちとせや市ホームページなどでお知らせしています。



大切な命、つなぐのはあなたです。

消防署救急指令 2 課救急 2 係
救急救命士 上原 貴志

千 歳で最初にAEDが設置されたのは新千歳空港で、平成17年のことです。

現在は、市内の約120施設に設置されているAED。このAEDのおかげで救われた命があります。

昨年、市内のスポーツ施設で運動中の男性が突然倒れたときは、そばにいた方の速やかな救命処置と、施設に設置していたAEDの使用で命が助かりました。

「AEDが設置されて約5年。同じように市民の命が救われたことがあります。突然の出来事に、落ち着いて行動できる方がいることは嬉しい限りです」と言います。

日本では、1日に100人以上の方が突然の心臓停止により倒れ、命

を落としています。

「まずは、身の回りのどこにAEDがあるのか調べてみてください。そして、もしものときは勇気を持って行動してください」救急車が到着するまで、命をつなぐことができるのは、ほかの誰でもない、そばに居合わせたあなたなのです。

万博の開催がきっかけで広がったAEDの設置

平成17年に愛知県で開催された「愛・地球博」。万博の会場には約100台のAED設置され、期間中4人の命が救われました。このことが広く報道され、全国にAEDの設置が進んでいます。